

2019年度、技能検定受検手数料助成先を決定 149団体 428名、総額 707万円

公益財団法人 天田財団（神奈川県伊勢原市、理事長：岡本 満夫）は、2019年度10月から新たな公益目的事業として、「金属等の加工業に従事する人材の育成と技能の向上に有益な資格の取得に対する助成」を開始しました。これに伴い、職業能力開発促進法施行令で指定され都道府県職業能力開発協会が実施する国家検定「工場板金」※の技能検定受検手数料助成を募集しました。このたび、その助成先を決定しましたのでお知らせいたします。助成総数は149団体で428名、助成金総額は707万円となりました。

2019年度後期「技能検定受検手数料助成」内訳

工場板金 職種	等級	助成者内訳
工場板金	特級	27名
機械板金作業	1級	113名
	2級	182名
数値制御タレットパンチプレス板金作業	1級	40名
	2級	66名
助成者総計		428名

※ 特級・1級・2級・3級の等級があり、主に各種工業製品に使用される金属板の加工（曲げ、打ち出し）・組み立ての仕事を対象としています。

公益財団法人 天田財団について

1987年に株式会社アマダ（現株式会社アマダホールディングス）の創業者であり、当時同社長の天田勇を設立代表者として、財団法人天田金属加工機械技術振興財団が設立されました。当財団の目的は、金属等の塑性加工分野における機械・加工システム技術に関する研究開発助成事業、ならびにその普及啓発事業を通じて、塑性加工機械に関する技術の向上を図り、広く金属加工業界および経済の発展に寄与することです。2007年からは、研究開発助成の対象を時代のニーズに合わせて、レーザプロセッシング分野へと拡大しました。2011年には公益認定を受け、公益財団法人天田財団へと名称を変更し、現在に至っています。

報道関係お問い合わせ先

公益財団法人 天田財団 担当： 佐藤

〒259-1116 神奈川県伊勢原市石田 350

TEL: 0463-96-3580 E-mail: m-sato@amada.co.jp